

子どもたちの笑顔。大人たちの安心。優しさが込められたトイレ。



広くて明るい親子トイレ。タイル貼りの壁も美しい。足を床につけて使える幼児用便器を採用しているため、早期の「トイレ・トレーニング」の場にもなっている。

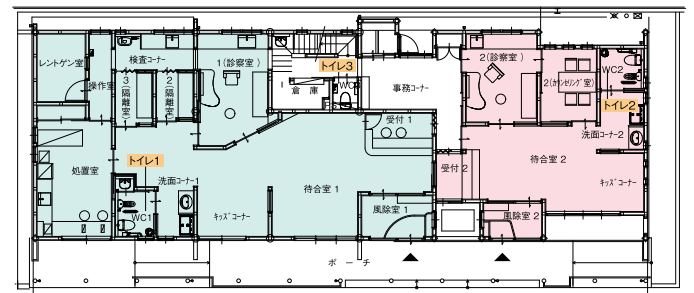
みんなでワイワイ、楽しく元気に。 親子でトイレ・トレーニングも。

小児科専門のクリニックとしてオープンし、子どもたちのあらゆる医療に対応している岩尾こどもクリニック。一般外来と予防接種・健診のエリアを玄関から分けることで、抵抗力の弱い子どもの感染対策に配慮しています。一般外来はグリーン、予防接種・健診はピンクというテーマカラーを決めてゾーンを構成し、それぞれに受付・待合室・水まわりなどを確保。空間の奥には病院スタッフが行き来できる動線がつけられています。

子どもたちがワイワイ集まれる場所にしたいという思いから、中待合のスペースを廃し、声の聞こえるクリニックに。親子いっしょに入れるきれいなトイレも、みんなに親しまれています。



怖くない、おしゃれな雰囲気のある診察室。



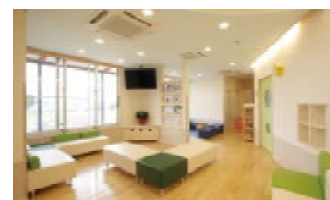
1F平面図



設計テーマは「海」。建物は船のようにも見える。

【岩尾こどもクリニック】

- 竣工年月 / 2011年4月
- 所在地 / 三重県津市河芸町の街1-1-5
- 施主 / 岩尾こどもクリニック
- 設計監修 / 株式会社アズテック 建築設計研究室
- 施工 / 大宗建設株式会社



待合室とキッズスペースは、家にいるようなくつろぎ感のある明るいインテリアで構成。



石けん・手洗い・乾燥までできる衛生的なオートボウル。ベビーシート未使用時には荷物置き台にも。

Voice 院長先生からの声

子どもはもちろん、お母さんにも居心地のいい場所です。



岩尾こどもクリニック
院長
岩尾篤さん

床はスリッパだと汚れるし、ちっちゃい子は寝転がって遊んでもいいように、履物を脱いで上がってもらうようにしました。手洗いはタオルにするか紙にするか迷いましたが、オートボウルを見た時に「これだ!」と思いました。水でべちょべちょにならないですね。トイレは病院だと喜んではいる子もいますから、「トイレ・トレーニング」にちゃんと座って床に足をつけてできるようにしました。空間は、子どもが安全に遊べるだけでなく、お母さんたちにも居心地のいいスペースづくりを心がけましたね。

Voice 設計担当の方からの声

「痛い」から「居たい」へ。そんな場づくりを考えました。



株式会社アズテック建築設計研究室
代表取締役
石黒正則さん(左)
中垣麻野さん(右)



「コワイ」とか「痛い」と思われるクリニックではなく、「居たい」場所になったらいいなと考えました。トイレも広くて明るく、ゾウもいるので「コワイくないゾウ!」ですね(笑)。設計は「海」をテーマにししながら、外壁の色やインテリアを決めたり、船の円窓のイメージをあしらったりしました。透明感のある淡い色合いでコーディネートしたことは、新しい癒しの方向と言えるかもしれませんね。